

全国協議会 ニュース

2020年8月1日発行 第336号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KTビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：田中重勝 題字：仲田順和（会長）
https://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

新規ドナー登録数、急激な減少 ～国にドナー登録方法の抜本的改革を要望～

新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、骨髄バンクの新規ドナー登録者数が急減しており、この減少傾向は長期間にわたると想定されます。そこで全国協議会は7月15日付けで「骨髄バンクドナー登録方法についての要望書」を、国（厚生労働省）、公益財団法人日本骨髄バンク、日本赤十字社血液事業本部、骨髄・さい帯血バンク議員連盟に提出し、抜本的な対策を早急に実施するよう要望しました。

本年4月、政府が緊急事態を宣言し、献血会場でのドナー登録推進活動が自粛となりました。これに伴い、新規ドナー登録者は4月が873人、5月は782人と急減し、自粛が解除された6月は若干増えて1,562人となりました。この3カ月のドナー登録数3,217人は、前年14,722人に比較して何と78.1%もの減少でした。また、ドナー取消者数（年齢制限・55歳に達した方、健康問題での辞退の方など）を差し引いた実数は、-2,490人であり初めてドナー登録者総数が減少に転じています。

現在、大学などは休校中であり、企業など職域献血の開催も難しい状況が続いていますが、献血ルーム、移動献血会場（献血バス）では、厳密な感染予防対策を行いつつ献血事業が行われております。献血会場でのドナー登録受付手続きは対面での説明であるため、「3密を避け感染拡大防止を優先した活動」では、従来のドナー登録者数の回復は難しい状況にあります。

一方、骨髄バンクドナーから骨髄提供を希望される患者さんは、常時2,000人もおられますので、ドナー登録者数の減少は、将来的には骨髄移植（末梢血幹細胞移植を含む）を必要とする白血病等の重症血液患者さんに甚大なる影響を与えるものと危惧されています。

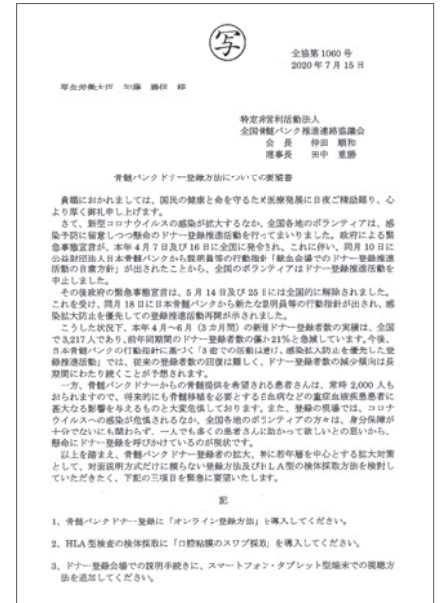
新型コロナウイルスの感染が心配される中、全国各地のボランティアの方々も身分保障が十分でないにも関わらず、

一人でも多くの患者さんが助かって欲しいとの思いから懸命にドナー登録を呼びかけているのが現状です。

そこで、骨髄バンクドナー登録者の拡大、特に若年層を中心とする拡大対策として、①対面説明方式に頼らないオンライン登録方法、②スワブ（綿棒）による口腔粘膜でのHLA型の検体採取方法、③簡潔な説明動画の配信方法を導入するよう、抜本的な改善対策を緊急要望したものです。

要望の理由

- ①オンライン登録の導入について
世界的にはすでに、ドナー登録希望者がWebサイトでの説明動画やスライドを視聴し、良く理解したら、自らの意思に基づきオンライン登録するシステムとなっています。ドナー登録受付やデータ管理（氏名変更や転居の把握、一時保留）などの業務負担軽減、業務の効率化、コーディネートの迅速化なども期待できます。なお、HLA型検査の終了後に本登録となるものです。
- ②HLA型検査にスワブ採取方式の導入について
世界各国のドナー登録者のHLA型検査は、ほとんどがスワブを使って自ら口腔粘膜を採取する方式で、郵送での登録となっています。遠隔地や仕事や学業などの都合で、ドナー登録に向くことが難しい方々も少なくありません。この方式は献血会場でのドナー



登録受付、血液採取によるHLA型検査による登録を補完し、善意の希望者に、広く登録する機会を提供できるようになります。

③ドナー登録会場で、簡潔な説明動画（ビデオ）の視聴方法の導入について
上記の①オンライン登録が導入されるまでは、時間を要するものと考えられます。そこで、緊急の対策として、出来る限り対面での接触機会・時間を減らす登録手続きとするため、簡潔で分かり易い説明動画（ビデオ）の視聴方式の導入を提案します。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

《MONTHLY JMDP》(7月15日発行)より抜粋

■日本骨髄バンクの現状(2020年6月末現在)

	5月	6月	現在数	累計数
ドナー登録者数	782	1,562	527,482	831,072
患者登録者数	165	206	1,851	59,526
移植例数	73(19)	81(19)	—	24,477

※()内は末梢血幹細胞移植の実施数

■6月の区別別ドナー登録者数
献血ルーム/598人、献血併行型集団登録会/923人、
集団登録会/1人、その他/40人

■6月の年齢別ドナー登録者数(現在数)
10代 4,108人/20代 82,248人/30代 138,042人
40代 223,407人/50代 79,677人

■6月の20歳未満の登録者150人

■6月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:972件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

令和元年度 AMED 再生医療公開シンポに参加して

本年2月5日(水)に行われましたAMED(日本医療研究開発機構)再生医療公開シンポジウムに参加しました。シンポジウムの記録集を参考に私たちに関連のある報告をご紹介します。

1. iPS細胞 進捗と今後の展望

山中伸弥先生からiPS細胞ストック事業の進捗報告がありました。拒絶反応の少ない特殊な方からご提供いただき、iPS細胞研究所で臨床用の細胞を作るクリーンルームで臨床に使える細胞を作り、あらかじめゲノム検査などの品質評価を徹底的に行って、凍結保存しストックしたものを、いろいろな先生に提供する事業です。

これまでに4種類の免疫型をカバーするiPS細胞を全部で7人のドナーから、合計27種類のiPS細胞を作製して提供しており、日本人のおよそ40%、大体5,000万人ぐらいに提供できるところまで来ているとのことでした。

高橋政代先生の新規黄斑変性症をはじめ多くの臨床研究などに使われております。

また課題もたくさんあり、残りの60%の日本人をどうカバーするか。日本人以外の世界の方をどうするか。いろいろなアプローチがありますが、ゲノム編集という免疫のタイプを書き換えてしまう方法が実用化されているので、この方法をストックで作ったiPS細胞に加えることによって、10種類程度の株で日本人の残り60%、さらには世界中の人々をカバーできる細胞を提供できるという見込みも立っているとのことでした。

2. 造血細胞移植後の予後を左右する合併症対策

造血細胞移植後の予後を左右する重要な因子として、GVHD(移植片が宿主を攻撃)と感染症が挙げられます。

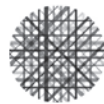
まずGVHDですが、東大医科研の長村登紀子先生と同種臍帯由来間葉系細胞を用いた治療の報告がありました。GVHDには新規薬剤が開発されているものの、いまだ標準治療はステロイドであり、ステロイド治療抵抗性の重症急性GVHDの長期生存率は10%と極めて不良です。そこで臍帯由来間葉

系細胞(MSC)の抗炎症効果や組織修復能などを応用し、MSCを重症GVHDの患者さんに投与する第1相医師主導試験が18年7月から開始されました。現時点では、用量制限毒性を認めておらず、次の症例登録待ちの状況との報告でした。また、民間の会社に製品化のノウハウを移管してより多くの患者さんに提供できる体制にしていく計画も紹介されました。

次は感染症対策ですが、これも有効な薬剤が無かったり、長期にわたる投与が必要であったり問題を抱えています。東京医科歯科大学の森尾友宏先生は複数ウイルス特異的T細胞療法を報告していました。

私達の身体の中には、いろいろなウイルスの特異的なT細胞が記憶T細胞として残っており、これを簡単に、かつ短時間に増幅して、難治性感染症に用いる臨床研究を計画し、既にサイトメガロウイルス(CMV)感染症他に投与が始まっています。現在、より安全な臨床試験実施に向けたプロトコル改訂を終了し、本試験に参加する症例数の増加を目指した活動を展開している状態です。HLA半合致以上の血縁ドナーから用意した特異的T細胞の臨床試験を終了したら、より多くの患者さんに投与できるように第三者由来の特異的T細胞による臨床試験を開始したいと考えているとの報告でした。

これらの早い実用化を期待します。
(千葉の会 溝口理文)



CHARITY
TOKYO MARATHON 2021

全国協議会は2021年3月7日(日)に開催予定の東京マラソン2021のチャリティ寄付先団体に昨年に続いて選ばれました!

東京マラソン2020はエリートランナーのみの出走となり、残念ながらチャリティランナーを含む一般のランナーは走ることが出来ませんでした。

全国協議会チャリティランナーは2021または2022に患者さんたちへの想いを載せて走ってくださいます。

このチャリティ活動によって、「骨髄バンク」が広く知られるようになり、移植を待つ患者さんが一人でも多く治療を受けられるようになることを目指します。

ご寄付のお願い

東京マラソン2021では新規のチャリティランナーの募集はありませんが、引き続き私たちの活動を支えていただくためのチャリティを募集しています。

東京マラソン2021チャリティ公式ウェブサイト「全国骨髄バンク推進連絡協議会」ページからお申し込みください。

東京マラソン2021チャリティ公式ウェブサイト
<https://www.marathon.tokyo/charity/>
～全国骨髄バンク推進連絡協議会は、
東京マラソン2021チャリティ事業の寄付先団体です～

東京マラソンチャリティとは



「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催してきた東京マラソンはランナーだけでなく、多くのボランティアや応援する人たちの心をつないで大きく成長してきました。2011大会からは、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、チャリティを実施しています。

東京マラソンを走り・支え・応援して下さる人々に、チャリティやスポーツ振興・環境保全・世界の難民支援・難病の子供たちへのサポート、動物愛護といった社会貢献について考えるきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティは運営されています。

走れる幸せを誰かの幸せにつなげよう。

東京マラソン財団では、チャリティ事業を“Run with Heart”と呼び、独自のスタイルを提案していきます。

東京マラソンチャリティ事業は、各寄付先団体と一般財団法人東京マラソン財団が協働で運営しています。

～東京マラソン2021チャリティ公式WEBサイトより～

公的骨髄バンク設立に尽力・そして今、登録拡大に貢献 NHK 朝ドラ「スカーレット」のモデル 神山さんにインタビュー

各地に被害をもたらした梅雨も明けぬ7月17日(金)に信楽(滋賀県)の神山清子さんを訪ね山村詔一郎副理事長と一緒に伺ってきました。2019年10月スタートのNHK朝の連続テレビ小説「スカーレット」で一躍有名になった神山さん。信楽の町を通ると、たくさんの大小のたぬきの陶器が迎えてくれ、そこここに「スカーレット」「神山清子展」の文字。神山さんのご自宅兼工房は最近できたカフェ&ギャラリーの裏にあります。

女性陶芸家の草分けとして試行錯誤を繰り返し、途絶えていた古信楽の再現に成功されました。ドラマは神山さんの半生を参考にされ、実際の作品も使われました。そして長男で同じく陶芸家の道に進まれた賢一さんの急性骨髄性白血病発症…。

—当時のことをお聞かせください

神山さん 1990年、まだ日本に骨髄バンクがなかった時、「ないなら作ればいい」と厚生省(当時)を訪ねた後、担当者から電話をもらいました。その方がたまたま陶器が好きで、「国は骨髄バンクを作りますが、20年後になりますよ」と言われました。「それでは遅い、もっと早くありませんか」と頼むと「民間の力が必要」と言われたので運動を起こして国を動かそうとしました。

親族や友人にHLA検査を受けてもらうために募金を集め、東京のデパートで作品展を行い、陶芸作品を売って必死でお金を集めました。長男は急性転化してしまった…。現在の日本骨髄バンクの理事長である小寺良尚先生たちを説き伏せ、大谷貴子さんや全国の患者、患者家族と一緒に骨髄バンク設立を訴えました。

そして活動が実を結び、1991年に公的骨髄バンク「骨髄移植推進財団」が立ち上がりました。

—「スカーレット」放送後の反応はいかがですか

神山さん 患者さんや家族の方から多くの手紙をもらいました。信楽を訪ねてくる人も増えました。ただ、地元の人は何も言ってきませんが…。

そしてまた、以前に作られた映画「火火」(注)も全国各地で再演され、講演や取材の依頼も増えました。「火火」が作られた時よりずっと、「骨髄バンク」や「白血病」という言葉が競泳の池江璃花子選手たち著名人が発病を公表することで、抵抗なく世間に認知され、話がしやすくなりました。

—今後の骨髄バンクはどうなっていくでしょうか

神山さん 多くの人が骨髄バンクのを知ることとなり、高齢の知人からも「自分はドナーになれるのか?」とよく聞かれます。将来、

ドナーの年齢制限はあがるのでは? 年齢が若くて健康な方だったら3回目の提供もできるのでは? 以前は、骨髄移植は怖い、難しいとわかってきたが理解が深まってきましたね。

お話が止まらない神山さん。ドラマでヒロインを演じた戸田恵梨香さんがサバサバした男っぽい演技で、最後は神山さんに見えてきたという声も。「スカーレット」のおかげで、骨髄バンク登録会をしても「骨髄バンク? ああ、朝ドラの? あの話ね」と言われることも多かったです。私もドラマと映画をまたじっくり観たいと思いました。

炎の色(スカーレット)の湯飲み茶碗をいただいて帰宅しました。

(理事 浅野祐子)

注: 2005年公開の映画「火火」は、那須田稔さん、岸川悦子さん共著のノンフィクション『母さん 子守歌うたって-寸越窯・いのちの記録』が原作。神山さんの半生が描かれています。監督・脚本は高橋伴明さん、主演は田中裕子さん。『女性陶芸家の草分けであり、骨髄バンク立上げに力を尽くした神山清子。今も信楽で日々窯を焚く女性の真実の物語 ~「火火」フライヤーより~』



写真左: 神山清子(こうやま きよこ)さん
「滋賀骨髄献血の和を広げる会」代表





千葉

コロナ禍での献血併行型登録会対応



7月18日(土)
柏献血ルームでの登録会(衝立があります)

千葉の会では、白血病等の患者さん支援のドナー（特に若年層）増を図るため献血併行型登録会開催に力を入れています。19年度の千葉の会が調整し、説明員を派遣した登録会は369回（登録者1,522名）に上ります。20年度は、400回開催を目指していましたが、1月に中国武漢で発生したコロナウイルスは、日本中に蔓延することとなり、千葉県では4月7日（火）に緊急事態宣言が発令され、4月の登録会は2回だけで残りは全て中止となりました。この千葉県の宣言は5月25日（月）に解除されましたが、登録会は5月、6月ともゼロで、7月にやっと献血ルーム4会場での登録会が再開されることとなりました。

コロナで献血者が激減しているとのことなので、私は最近月2回献血ルームで成分献血をしています。そこで見た献血ルームの献血者に対するコロナ感染防止対策は、以下の通りです。ルームに入ったら①消毒液があり、自分で手を消毒、②日赤献血受付者が額に体温計をかざし検温をしてくれる、③献血者はマスク着用。していないとするよう注意される。ルーム内は④献血ルームのいたるところに消毒液が置いてある、⑤受付、先生の間診、看護師による血液検査のための採血の各場所には垂れ下がったビニールシートがありガードされている、⑥日赤職員、先生は全員普通のマスク着用。フェイスシールドの着用は

ない、⑦献血者同士が三密にならないよう、待合兼休憩室、検査待ちの椅子は、間隔があくようにしている、⑧ルームのいたるところの扉が開いていて空気を入れ替えている、⑨一部のルームでは登録会会場の机に透明の衝立てが設置されている。

このようなルーム環境の中での献血併行型登録会再開に当たり、日赤の登録会調整者に千葉の会として、新たに用意するものはありますか？と確認したところ、特にはないが、3密にならないよう、説明員は原則一人で、説明はできるだけ短め（15分程度）になるよう注意くださいとのことでした。

千葉の会としては更に以下の対応を図っています。①朝の検温、②マスク着用、③消毒液を用意して一人の説明が終わったら机等の消毒、④説明会場の扉を開放し、換気に努める、⑤フェイスシールドの用意、⑥説明会当日に説明員本人または家族が体調不良（発熱、咳、匂いや味の感覚がない等）になった場合の連絡網整備と周知徹底。

8月からは移動献血バスによる企業・大学・自治体等での登録会も復活の予定ではありますが、昨今の日本全体の感染者数の増加傾向を見ると予断を許しません。何れにしてもどの会場においても、感染防止を図ることを最大の注意点として、対応して参ります。一日も早くコロナが収束し、日本各地で安心して献血併行型登録会が開催できるように祈っています。

(千葉の会会長 梅田正造)

“骨髄バンク LINE 公式アカウント” スタート

日本骨髄バンクは、7月1日（水）LINE 公式アカウントを開設しました。骨髄バンクに既に登録しているドナーへの「リテンション」（自身がドナー登録している事を再認識してもらうことで提供意思を持続させる働きかけ）の他、若年層にドナー登録してもらう為に情報発信するツールとしても活用されます。

啓発グッズをご活用ください

今年はマスク着用でいつもより暑く感じる夏になりそうです。ハローキティのうちわ、ミニハンカチ（今治のブランドタグ付き）を骨髄バンクの啓発活動にお役立てください。ミニサイズで持ち運びにも便利です。全国協議会事務局までお問い合わせください。



(うちわ)
黄色で縦 28cm 幅 19.5cm



(ハンカチ)
白で縦 19.5cm 幅 20cm

心からのご寄付に感謝申し上げます ●6月21日～7月20日(敬称略)

●一般

須藤 勝巳	現金	5,007円
藤波 敬子	現金	10,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
柴山 洋久	現金	20,000円
飛田 行康	現金	10,000円
小野塚 照直	現金	5,000円
酒井 照子	現金	10,000円
タケヤマ アキコ	現金	3,000円
匿名	現金	10,000円
匿名	現金	3,000円

●佐藤さち子基金

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	現金	20,260円
円東 克典	現金	20,000円
匿名	現金	100,000円

●志村大輔患者支援基金

井上 明美	現金	1,000円
津田 敦子	現金	1,000円
ヒビ ゴイチ	現金	30,000円

●こうのとりのマリン基金

村田 将真	現金	3,000円
-------	----	--------

●募金箱

株式会社 マルト商事	現金	50,085円
株式会社 マルト商事	現金	64,595円
株式会社 洋伸	現金	3,695円

●つながる募金

現金	14,810円
----	---------

●キモチと。

現金	2,568円
----	--------

活動資金の支援をお願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754
普通 5666655

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会